

2020年度事業・年度末報告書(資金分配団体)

(「進捗報告」か「年度末報告」どちらの報告かが分かるようにタイトルを編集してください)

- 提出日 : 年 月 日
- 事業名 :
- 資金分配団体 :

1 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
居場所マップの作成	居場所マップ	4地域にて1つずつ	2024年3月	地域資源の可視化を目的とし、wakwak、坂井市が実施・着手をしている。また、堺市社協は、HPIにて公開をしている。	2
居場所の意見交換会	意見交換会の開催回数	4地域にて各6回	2024年3月	子どもの居場所を軸に、自治会や他居場所との情報交換会やヒアリングの場がフォーマル・インフォーマルに実施されている。	2
居場所サミットの開催	居場所サミットの開催回数	2地域にて各1回	2024年3月	新座は大学と連携した居場所フォーラムを実施。	2
居場所づくりコーディネーターの委嘱	居場所づくりコーディネーターの委嘱人数	4地域にて各1名	2024年3月	こども食堂コーディネーターもしくは子どもの居場所コーディネーターが配置されている。	3

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
セクター横断の意見交換会の実施	意見交換会(会議体)の開催数	4地域にて各2回	2024年3月	社協横断会議、堺市及び坂井市社協によるさかい市会議、大阪府域こども食堂ネットワーク形成づくりにつながっている。	1
事業連携の仕組みづくり	事業連携の仕組みやプラットフォームの構築数	4地域にて1つ以上の仕組み構築	2024年3月	人材育成を目的とした人事交流や拠点視察がなされ、大学との連携フォーラムが開催される。	2
防災に関する意見交換会の実施	意見交換会(会議体)の実施数 もしくは、コーディネーターが防災関連会議に参加した回数	2地域にて各1回	2024年3月	子どもから高齢者までが対象となり、多様な関係者が協働するテーマとして「防災」は一定の理解と地域の連携においては重要と考えるが、実行団体の主目的に入っていない。	4

*進捗状況:1計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A:変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値

6.(任意)非資金的支援の活動に関する報告

実行団体は、それぞれに特徴をもち活動実績のある団体である。そして、本事業への強いコミットがある。それがゆえ、事業開始時から、2つの社会福祉協議会(坂井市・堺市)は、情報交換をするための「さかいしミーティング」を実行団体自らが持ちかけ、担当者から事業責任者までが参加し、情報交換や相談・助言等を行う場を作ってきた。その「さかいし社協同士の会議」から、他の地域での取り組みへの関心が広がり、資金分配団体であるむすびえが他事業を通じて関係を深めている社協も含めた社協横断会議が開催されるようになり、さらには、「地域の賑わいづくり」をキーワードに、こども食堂の支援を通して、社協の地域福祉活動の推進力向上を目的として、社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会を開催(6/28)するまでになった(全国の社協関係者から400名を超える申込)。開催にあたっては、厚労省からの後援を得ることができ、全社協を含む15法人で実行委員会を構成し、地域を超えた連携をはかった(2023年度は7/7に開催予定)。全国に繋がる大きな波及効果を生み出したと考える。

また、NPOとして活動実績がある2団体は、地域住民、地縁団体、NPO、大学、商工会や支援企業、行政等との信頼関係に基づいた関係性をベースに、住民・民間主体の地域でのネットワーク化を実現・推進し、対象地域での多セクターとの包括連携によるモデル地域づくりの実践を行っている。さらには、厚労省「支援対象児童等見守り強化事業」等を行政から受託し、本事業と連携させながら事業推進することで、連携と見守りの相乗効果を生み出す成果を生み出している。また、事業推進を可能とするチーム体制づくりについては、新規雇用を可能とし、新たなチームにおけるチームビルディング(合同研修)も実施することで、目指す方向性の共有化をはかり、団体を超えた連携関係を加速させている。それは、これまで会議で話す(報告等する)人が、事業責任者レベルが主だったが、各担当者レベルが会議で自らが意欲的に話す場面や笑顔が増えるなど、明らかな主体形成につながったと実感できるといったレベルで成果を実感している。そして、いずれの実行団体も、お互いを知り合えていないから生じてしまう十分な連携関係があるとは言い難い状況が、組織内、地域内にそれぞれにあるが、そういった関係者と関係構築をしていくためのプロセスの検討や働きかけ、それを可能とするチームの意思決定がなされていることは、居場所の包括連携によるこぼれにくいモデル地域づくりの実践を着実なものにしている証拠と評価している。

2 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している

報告書に表示している イベント実施時に表示している その他

→「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述):

2. 広報

1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

2.広報制作物等

3.報告書等

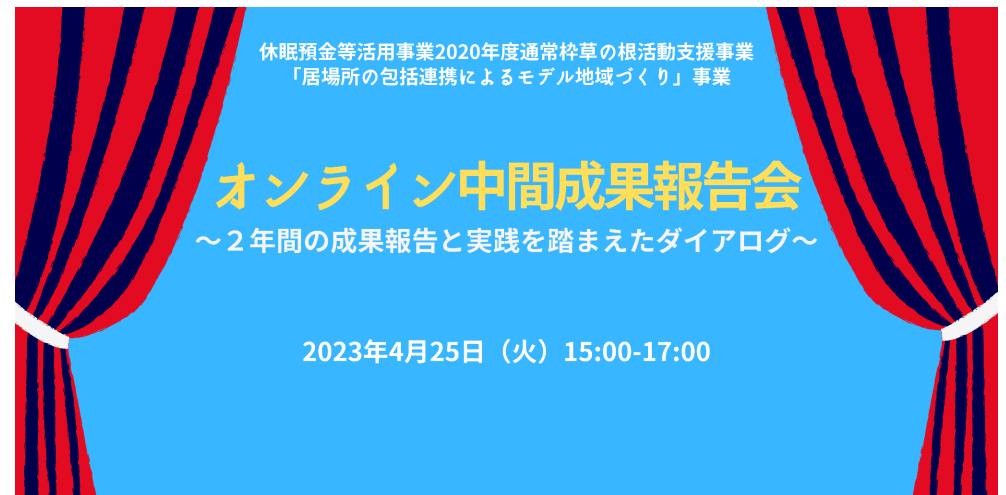
4.イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)

2023年4月25日開催

「居場所の包括連携によるモデル地域づくり」事業中間成果報告会(オンライン・申込数:103名)

添付資料

活動の写真(画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度)



④規程類の整備に関する報告

1. 規程類をwebサイト上で広く一般公開していますか。
<input type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： ほぼ公開しているが、「旅費・経費精算規程」「特定資産管理規定」など主に内部の事務処理・運営にのみ関わるもので、改定間もないものについて公開していないものがある
2. 変更があった規程類に関してJANPIAに報告しましたか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： これから報告するところ
3. 【非公開】実行団体の監査に関する報告
報告年度の監査が未実施(実施予定なし)の実行団体はありますか。： <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」を選択した場合、該当の団体にどのような支援をされる予定ですか。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
■はい □いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由:
2. 内部通報制度は整備されていますか。
■はい □いいえ →「はい」の場合の設置方法(複数選択可): □内部に窓口を設置 □外部に窓口を設置 ■ JANPIAの窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
■はい □いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由:
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
■はい □いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由:
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
■はい □いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由:
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
■内部監査を実施 □外部監査を実施 □実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由: